

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 21/Dec/2015/vol.377

梅枝 Plum blossom, Ume

梅の花には「忠実」という花言葉があります。有名な話に、勉強・受験の神様としてかの有名な九州の太宰府天満宮(菅原道真公をお祀りしている)の「飛梅」は、梅が道真公を慕ってその地に飛び、根付いたといわれています。それから「忠誠、忠実」といった言葉が当てられたそうで梅は天満宮の印となっています。そして京都の北野天満宮では正月の縁起物「福梅(おおふくうめ)」が年末に準備されます。干した梅の実をウラジロの葉と一緒に奉書に包んだ縁起物、招福息災を祈って参拝者に授与されます。そんな話からも凛とした品格と強さをも感じさせ、そして特に今この季節、お正月を祝う準備として使われる「梅」はこの季節多くの福を連れてきます。花見というのが桜の花見に置き換えられたのが江戸時代以降だということで、実はそれ以前は「梅の花」が花見の対象でした。日本には「松竹梅」という言葉があるように松と竹は寒中にも色褪せず、また梅は寒中に花開くといった意味があるようで、どれも「吉祥の意味合いを濃くしています。お正月は、あしらの梅が多くのお料理に彩りを添え、縁起と春の扉を開けるお手伝いをする季節です。梅枝は一足早く春の香りを載せながら、1年で一番忙しい時を迎えています。